mono CONTENTS

2015.6-2No.738

AD・表紙デザイン：若山トシオ
DTP：ベイス、ナギ
表紙写真：WPP写真部

特集担当者のおすすめ！

春の眼鏡展示会をまわり数ある新作を見たなかでとても美しかったこちらを紹介。なんと、経年変化も楽しめるレザーのフロントです。アセテート生地にレザーを貼り合わせた後にカットすることで剥がれにくくなっています。また緑のレザーのニュアンスがいい感じなのもポイント。今季の一押しだとデザイナーのレイさんも太鼓判をおすこちら。詳しくは46ページを。

メ ガ ネ を 知 る。 そ し て 楽 し む！

メガネ全方位主義

モノマガ恒例のメガネ特集がやってきた。この夏のトレンドを素材、カラー、フォルムから読み取ることは、イメージを上げるアイテムを選ぶ上で欠かせない要素だ。
今年は大胆なアイデアと精巧な作りが特長の、ニッポンのメガネの歴史が幕を開けてから110年。
記念すべき年に登場するデザイナー渾身のフレームは何か。メガネ選びに覚えておきたい言葉やコツも網羅して、基礎知識からトレンドまで、モノマガ人注目のメガネ情報を、全方位網羅でお届けする!

編集部より◎商品は取扱説明書に従って正しい使い方をしてください。掲載価格は税込みの価格です。実勢価格は編集部調べの価格です。◎次号のモノ・マガジンは、2015年6月2日(火)発売です。

mono

CONTENTS.2

2015.6-2No.738

今月のイチ押し!

パナソニックから5月21日に発売になるウェアラブルカメラ HX-A1H。直径26㎜、全長83㎜、そして質量はわずか45gと超軽量コンパクト。1.5m防水、1.5mの耐衝撃性能、マイナス10℃の耐寒性能、そして防塵設計とアウトドアでガンガン使えるのが特長。詳細は17ページにて。

ハイエンドバックパック

もはや日本の標準装備となったバックパック。次なるスタイルはズバリ「ハイエンド」。カジュアルでもない、アウトドアの延長でもない至高のバックパック。背負うのではなく、着る。いまオトナの背中にあるべきモノ。ハイエンドバックパック。

20世紀初頭のアメリカンツール

【アノニマスな道具たち】

表舞台のテーブル上では、旧世界からのインポート物が幅を利かせ、バックヤードである台所では、ホームメイドの道具が働いていた。洗練からはほど遠かったそれらが、やがてアメリカンツールになっていく。その時間のなかで、モノづくりするアメリカが残してきた日用品やツールやおもちゃを振り返る。

快眠特集

地球上の生き物は、皆例外なく寝る。生きていくうえで眠りは欠かせぬ行為なのである。ならば睡眠を少しでも有意義で、質の高い時間にしようではないか！

ポジティブ防雨主義

雨の日に機能し、スタイルをキープするのが原則。面白くて機能的な傘、心が晴れ晴れするレインウエア＆シューズをピックアップ。雨の日を積極的にときめきの日にするポジティブ・レイングッズ。

編集部より◎商品は取扱説明書に従って正しい使い方をしてください。掲載価格は税込みの価格です。実勢価格は編集部調べの価格です。◎次号のモノ・マガジンは2015年6月2日（火）発売です。

総力特集

メガネを知る。そして楽しむ！

メガネ全方位主義

モノマガ恒例のメガネ特集がやってきた。この夏、クールに掛けたい新作メガネやショップおすすめ商品に加え、フレーム選びに覚えておきたい言葉やコツも網羅。また、今年はニッポンの眼鏡の歴史が幕をあけてから110年の記念すべき年! デザイナー渾身の1本も見逃すな。

Metal

夏が来る! 最新Coolメガネ part 1

素材はやっぱりメタル

柔らかくドッシリした掛け心地のプラスチックフレームに飽き足りない兄貴たちが、メタルフレームの一挙手一投足に注目している。すでにクラシックの分野ではウェリントン、ボストンへと移行する流れから、その先にはクラシックメタルへのステージが待っていることは自然な流れとなっている。もちろん男は「工場萌え」なんて感覚があるとおり、古来金属の"素材感"にめっぽうヨワい。ギラギラしたソリッドな輝き、均一にコーティングされたマットフィニッシュ、ザラザラした梨地のフィーリング、職人が慣れた手つきでパーツを曲げ、接合するという生産背景。そして、それらが動き、機能する様……。その魅力は、語り出したら夜が明けてしまうほど事欠かないのだ。

ここでは、各ブランドが得意とするコンストラクションやアイコン的なデザインをメタルに込めた新作の中から、男の本能を刺激する厳選のプロダクトを紹介しよう。今宵は金属の魅力に捕り憑かれたデザイナーの声に耳を傾けながらフレームと語り合おうじゃないか!

ライツ ジャーマニー REIZ GERMANY

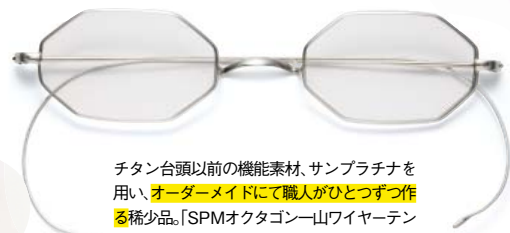
質感や軽さが魅力的だが製造に高いハードルをもつアルミ素材のフレームを見事に具現化。それでもブランド"らしさ"を保つ、その感性に圧倒。「Type 5 Col.4」オープン価格㊐LDJロジステックス☎045-564-9494

エイチ フュージョン H-fusion

繊細かつスッキリしたリム形状が美しいミニマルデザイン。それでいてブリッジを彫金仕様にすることで、あっさりしすぎない、心に残るデザインが見事。「HFL-609 Col.gold」価格2万7000円㊐オプトデュオ☎0778-65-2374

ジーパーツ Zparts

一切の装飾を排したミニマリズムと掛け心地の軽さに定評。それでいて男心にグッとくる素材の質感は掛けて良し、手に取って眺めても良しな秀作といえる。「Z-101 Col.TIB」価格2万7000円㊐小田幸☎0776-28-5870

リイチサク 利一作

チタン台頭以前の機能素材、サンプラチナを用い、オーダーメイドにて職人がひとつずつ作る稀少品。「SPMオクタゴン一山ワイヤーテンプル Col.サンプラチナ素地色」オープン価格㊐オプティックマスナガ☎0778-51-7092

オルグリーン ORGREEN

肉厚だが軽量のチタンに明るい色使いで、メタルフレームに付きまとう"冷たさ"を払拭。セルフレームに負けないボリューム感が格好良い。「BOWERY Col.597」価格4万3200円㊐マリビジョン☎03-6427-7239

ジャポニスム JAPONISM

艶感を抑え、シャープなフロントがこのブランドの一貫したテイスト。マーブル柄のテンプルが、そのフロントを抱くようにセットされ、デザインと機能を兼備している。「JN-573 Col.01」価格5万1840円㊐グロス銀座☎03-5579-9890

ソリッドブルー SOLID BLUE

セルで表現することの多いブロウをメタルに置き換えることで、すっきりとシャープな印象に。反面、セルの長モダンを使い、ボリュームと温もりも残している。「S-205 Col.4」価格3万2400円㊐バウハウス☎03-5823-4047

アイシー！ベルリン ic!berlin

シックな黒とギラついた金のカラーコントラストがエロティックな作。シートメタルの先駆けは常に、一歩先を行く。「135 Seekorso Col.black/matt gold」価格4万9680円㊐アイシー！ベルリン ジャパン☎03-6804-2064

ヴィクター&ロルフ ビジョン VIKTOR & ROLF VISION

端正なボストン型、と思いきや角を丸くしながらの変形オクタゴン(八角形)シェイプ。クラシックのトレンドをさりげなく取り入れる感性は流石だ。「70-0139 Col.3」価格3万240円㊐村井☎0120-953-429

フォーナインズ 999.9

創立から理想の掛け心地を追求する999.9が打ち出した答えのひとつがメタルのブロウモデル。その機構は常に進化しており、最新がコチラだ。「S-840T Col.2」価格3万9960円㊐フォーナインズ☎03-5727-4900

写真／熊谷義久(WPP)、青木健格(WPP)、油科康司(WPP)　スタイリング／藤 裕美　文／実川 実

メガネを知るには素材を知る！

意外と知らない自分のメガネの真のスペック。メッキや塗装とは、また違った素材の持つ独特の質感も欠かせないポイントのひとつ。メタルか？　プラスチックか？　掛ける人のイメージは、素材で変わる！

写真／鶴田智昭（WPP）　文／岡部直人

よくプラスチックとメタルに分けられるけど……

現在、メガネフレームで多く使われている素材は、大きく分けてメタル＝金属、プラスチック＝樹脂のふたつ。メタルでは純チタンやチタン合金、プラスチックではアセテートや少なくなってきてはいるがセルロイド。たとえば、ひと口に〝チタンフレーム〟といっても、その使われ方はさまざまで、ほぼ全体に使われていることもあれば、部分的に使われているだけの場合もある（いまでは、品質表示が義務付けられているため確認するのは容易だ）。素材が醸し出す質感は、デザインやカラーと同様、使う人のイメージを決定付けるポイントでもある。加工のしやすさ、軽さ、強靭さ、しなやかさ、耐久性といった素材の特性はもちろん、身に着けるものであることからアレルギーを引き起こす可能性が限りなく低いものなど、求められるハードルは高い。不燃性が高く紫外線の影響を受けにくいアセテートがセルロイドに取って代わりつつあるように金属でありながらもゴムのような性質を併せ持つ〝ゴムメタル〟や、また、極薄の板金から超軽量のメガネを成形する、いわゆる〝シートメタル〟のメガネ作りへの採用など、新素材、新技術を積極的に採り入れられ続けている。普段、何気なく掛けているメガネが、実は素材はもちろん、加工技術、光学技術、人間工学など、最新テクノロジーの集合体なのだと考えると面白い。素材が違えば掛け心地、肌触りも違う。色やデザインだけでなく、素材にこだわってメガネを変えてみるのも、また楽しい。

王道はチタン

メタルの中で、もっとも使われているのがチタン。1980年代前半、メガネ素材として実用化された純チタン以来、現在はα、β、α−βなどのチタン合金が主流になってきている。軽量でありながら“洋白（ニッケルシルバー）”の約2倍の強度をもつ。よりフィット感を高めるため、純チタンより耐熱性、弾力性に優れたβチタンをテンプルやブリッジ部分に使うことも多い。

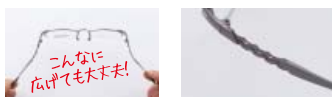
スクエアのフルリムモデル“i-S.P.I.C「ISL-109」”。ヨロイとテンプルをスマートチタンで接合、テンションを理想的に分散させることで、しなやかな掛け心地を実現している。価格4万2120円。㊐サンリーブ☎03-5368-2268

スマートチタン

テンプルやヨロイの部分に引っ掛けることができるので、コンパクトに保管収納できる。

ヨロイとテンプルの接合部にβチタンよりも高い強度と耐久性をもつスマートチタンを。

“メンズマーク シャルマン”の新作「XM1154 GR」。テンプル部分のエクセレンスチタンのバネパーツと人間工学に基づく設計思想が確かな掛け心地を生む。価格3万4560円。㊐シャルマン カスタマーサービス0120-480-828

エクセレンスチタン

バネ性、形状記憶性、加工性など、シャルマンならではの技で素材の特長を遺憾なく発揮。

テンプル部分のエクセレンスチタンはデザイン性も高く、洗練された雰囲気を醸し出す。

テンプル、ヨロイ部分に純チタンを採用した「RIDOL TITANIUM R-152 01」。デザインはもちろんフロント、テンプルのブラッシュチタン仕上げがクールでスタイリッシュなイメージ。価格3万4560円。㊐小田幸☎0776-28-5870

シートメタルという名も聞きますが？

1990年代の終わり、ステンレス合金板からメガネのフレームを型抜きする製法をドイツの「ic！ berlin」が実用化。厚さ0.5㎜の合金板でもOKと聞けば、そこからどれだけ軽量のメガネが生産できるかは容易に想像できるだろう（ic！ berlinのフレーム、詳細はP.35で！）。

【その他の素材】

【アルミニウム】
純アルミニウムでは強度が足りないため、通常は他金属と合金にすることで、強度アップが図られて使用される。メタリックな質感が特長。写真はREIZのフレーム。価格未定。

【ステンレス】
鉄を主成分にクロムやニッケルを含んだ合金鋼。メガネには薄いシート状で使用される。軽量で弾性が高く、錆びにくい。シャープなイメージと高いフィット感が得られる。

【 銀 】
メガネでは装飾用のパーツとして使用されることが多い。メガネフレームとしては、銅(7.5%)と合金化した“スターリング・シルバー（シルバー925）”が使われる。

【 金 】
純金(24K)では柔らかすぎ、変形もしやすいため、銀や銅などを加えて18金(18K)や14金(14K)の状態で使われる。混合する金属によって色合いに違いが出るのが特長。

【プラチナ】
化学的には、高い安定性で、変質や変色が起こらないという特長をもつが、レアメタルの中でも、ひと際稀少な貴金属。使われるのは超高級フレームに限られる。

王道はアセテート

綿花やパルプなどの天然植物繊維に、酢酸を反応させることで作られる酢酸綿が原料。可逆剤を加え成型しやすくした状態で使われる。透明感が高く色の再現性も良好。セルロイドに比べて燃えにくく、紫外線の影響も少ない一方で、やや強度に劣り、また吸水性が高いため長期間の使用で汗などの水分を吸い白く変色する場合がある。

シンプルなスクエアタイプが、ラフォンらしい繊細なカラーリングを一層、際立たせる「LIN（ラン）」。カジュアルな中に凛とした雰囲気を醸し出す、日常使いに適したオールラウンダー、価格2万8080円。㊐イワキメガネ☎03-3462-1504

その発色の良さとも相俟った温もり感は樹脂製ならでは。「DECARTO」は、そんな素材の質感＝セルロイドへのこだわりに溢れたシリーズだ（写真は「DECARTO-passion」）。価格3万7800円。㊐デュアル☎03-6796-3201

アセテートはイタリアのマツケリ　セルロイドはニッポンのダイセル

いわゆる“セルフレーム”の世界シェアトップといわれているのが、160年を超える歴史をもつ名門「マツケリ」のアセテートと、100有余年の歴史をもつ老舗「ダイセル」のセルロイド。発色の良いアセテートで知られる伊の「マツケリ」、繊細にして慎重な加工が求められるセルロイドは日本の「ダイセル」。お国柄が顕われている？

写真／中島 誠

王道はセルロイド

繊維系プラスチック素材として、べっ甲の代わりに使われてきたメガネフレームの古くからの定番素材。アセテートより紫外線には弱いものの、弾力性があって変形しにくく、吸水性も低い。現在では、燃えやすいことによる危険性も含めて、手作業に頼らざるを得ないデリケートさゆえ使用頻度は減少しているが、そのノスタルジックな雰囲気にファンは多い。

シート状のセルロイドを加工。高い形状維持性で、現在でも卓球用のボールやギターのピックなどに使われている。

発色の良さにプラスされる艶やかさ。独特のしっとり落ち着いたナチュラルなテイストが、セルロイドの持ち味。

加工のしやすさや着色性の良さはセルロイドならでは。その加工工程に職人の手作業が欠かせない。量産には不向きだが、人の手だけで作られていた時代からの素材に惹かれてしまう。

メガネ全方位主義

男だってぬいぐるみが欲しい

『Akane Ishiga』

フィギュアのコレクターに男性が多いことからも判るように、男だって「ぬいぐるみ」が気になるはず。誰かに見られても変な誤解を生まない、カッコ良くて、可愛い、そんなぬいぐるみが欲しい！というわけでイラストレーターとしても活躍をしている注目の作家・いしが あかねさんがひとつひとつ手作りしている、“ファッション”の匂いを感じさせるぬいぐるみを紹介！早くも海外などで人気を集めているようだ。

『Akane Ishiga』のぬいぐるみについて
自分の描くイラストを立体にしてみたいと思い、イラストの延長線としてぬいぐるみをつくり始めました。「つれて歩ける動物園」をテーマに、ぬいぐるみチャームを中心に、バッグなどを制作・販売しています。持っているだけで笑顔になってしまうような作品をひとつひとつ心をこめて手づくりしています。イラストも同じ事が言えますが、ぬいぐるみは特に、同じ型紙や素材を使ってもひとりとして同じ顔の子がつくれないのが魅力です。素材には天然モヘアやアルパカ、ガラス製のグラスアイを使用しています。ポップなデザインと天然素材の組み合わせを楽しんでもらえたらと思っています。

ヒヨコCharm
価格3500円

コウモリCharm
価格3000円

ウサちゃんCharm
価格5000円

クマくんCharm
価格5500円
Web ShopではTシャツのプリント文字と数字をオーダーできます。

リスくんCharm
価格5000円

ネズミくんCharm
価格5500円

トラCharm
価格5000円

ナマケモノCharm
価格5500円

ブタさんCharm
価格5000円

ブルドッグCharm
価格5500円

information

いしがさんと、ぬいぐるみ達に会いに行こう！

ヨコハマハンドメイドマルシェ 2015
http://handmade-marche.jp
日時：5/23(土)24(日)
会場：パシフィコ横浜(D-43ブース)
※両日出店！(chovon SHOPとして出店します)
Web Shop→http://chovon.base.ec

イラスト／いしがあかね　写真／gami

パジャマ屋さんのパジャマで眠る。

NOWHAW(ノウハウ)は、パジャマを中心としたナイトウエアを手掛ける日本のブランドだ。そのまま表に出かけても、突然の来客にだって、ちっとも物怖じしないお洒落なデザインが嬉しい。その上もちろん着心地が良いので、一通り外出着は揃っている！という方に注目していただきたいブランド。

❶YES/NO Pillow　価格7452円
❷day pajama/denim　価格１万9440円
❸day long pajama/denim　価格２万520円
❹night cap　価格3240円
㊐ノウハウ　http://nowhaw.com/

いざ、眠りの世界へ

FLENSTED MOBILES
デンマーク製のモビール

眠れない夜、何となくユラユラと、この羊のモビールが揺れていたら……、自然と眠れそう!?　な気のするデンマーク製のモビール。価格3240円

㊐ザ・コンランショップ 0120-04-1660

　写真／渡辺秀一　文／Pete Campbell

ウォーターフロント
Waterfront
24本骨ムジ

価格2160円
㊐シューズセレクション
☎03-3724-8689

骨は通常の３倍にあたる24本なので、強度は抜群。骨の数が多いと重量が増えるものだが、親骨と受け骨にFRPを、シャフトにアルミを使用することで丈夫さと軽さ、錆びにくさを実現。番傘のようなシルエットも印象的で、価格も驚くほど手ごろだ。

日本人の美的センスを狙い撃つ24本骨番傘チック

心はハレルヤ ポジティブ防雨主義（スタイル）

予想外の雨に悩まされる必要のない機能性の高さはもちろんのこと、デザインやカラー、常識を超えたプロポーションまで、傘のスタイルも多種多様。好みや用途に応じたアイテムをチョイスすれば、鬱陶しいはずの雨の日だって、きっと爽快な気分で過ごせるはずだ。

〈P.144-147〉文／印南敦史　写真／宮坂政邦（WPP）　〈P.148-151〉文／倉野路凡、モノ・マガジン編集部　写真／篠田麦也　スタイリスト／大井慎弥

mabu マブ
24 Umbrella –EDO–
超軽量24本骨傘 江戸

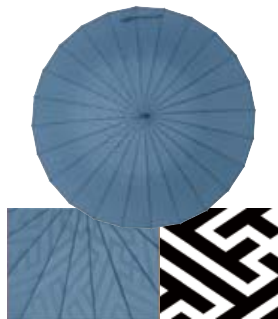
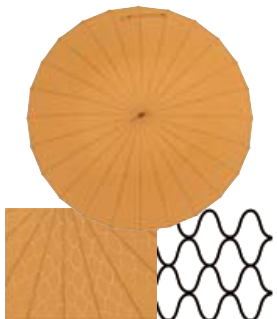
価格3240円
㊐mabu東京銀座☎03-3562-1300

文字どおり江戸の「粋」を形にしたかのような、いわば和傘の進化形。伝統に根ざした美しさを、最新の技術によって際立たせている。過度に主張しすぎることなく、それでいて上品さを持つ小紋の透し柄が最大の特徴。しかも６種の色と吉祥文様には、それぞれに意味が込められている。まさに、日本の伝統美を見事に表現してみせた傘だといえるだろう。

巻きどめには、色名の刺繍が施されている。色の意味に想いを馳せることができるというわけだ。

閉じるとき、指や爪を挟む心配のないネイルガードつき。力も不要なので、女性でも安心して使える。

グラスファイバー製の軽量骨が採用されているため、しなやかでありながら、高い強度をも誇る。

茜×七宝（しっぽう）
四方八方に広がる「七宝」の文様。人とのご縁（輪）は、７つの宝同様の価値といわれることにも由来しているという。

紺青×紗綾形文様（さやがたもんよう）　**山吹×網目（あみめ）**　**紅桔梗×花亀甲（はなきっこう）**　**千歳緑×松皮菱（まつかわひし）**　**墨×麻の葉（あさのは）**

ウォーターフロント
Waterfront
富山サンダー

価格4212円
㊐シューズセレクション
☎03-3724-8689

水分が多く、重たい雪に悩まされる富山県民のために開発された豪雪対応傘。ウォーターバリア®を採用しており、蓮の葉のように水を弾く。親骨、受骨、中棒にFRP（繊維強化プラスチック）を使用し、曲げ強度を高めているので、重い雪にも強い風にも耐える強靭さだ。

濡れても滑りにくいラバーコーティング採用。ワンタッチボタン一体型

ゲリラ抗戦 耐風・豪雨積極的防衛術

マブ
mabu
Seamless Jump 100
ゲリラ豪雨傘 シームレスジャンプ 100

価格4298円
㊐mabu東京銀座☎03-3562-1300

高い耐水圧の生地は、縫製しない１枚張り。縫い目がないため、強い雨でも漏れにくい。グラスファイバー製の骨は軽くてよくしなり、強風や突風を受けても裏返りにくく、裏返っても壊れずもとに戻る。耐水性は100±２㎜/hの降雨量で120分間降られても漏水しないテスト結果と、一般的な傘の５倍の強度だ。

スーパーeDRY タフネス55ミニ

価格4320円
㊐patria
☎052-212-8700

風速15m/sの強風に耐えることができ、折れにくい構造を持つ丈夫な折りたたみ傘。リベット（継ぎ目）に金属でなく樹脂を採用することで、強度としなやかさをより高めている。また、効果が長期持続する特殊ファブリック「Super e-DRY（イードライ）」を採用しているため、撥水効果も抜群だ。

ウォーターフロント
Waterfront
桜島ファイヤー®

価格2160円
㊐シューズセレクション
☎03-3724-8689

鹿児島県民の悩みの種である、桜島の降灰対策として開発された手開きのビニール傘。キャップ型のドームになっているので、肩まですっぽり入ることが可能。確実に灰を避けられるわけ。この仕様が豪雨対策に向くとして人気上昇中。肩からかけられる専用の袋がついて、持ち運びにも便利だ。なおビニールは、環境に優しいエコ素材を使用している。

BLUNT ブラント
BLUNT CLASSIC 2nd

価格7344円
㊐patria
☎052-212-8700

ブラントアンブレラは、ニュージーランドで開発された傘ブランド。このモデルの最大のポイントは、風速約31m/sまでに耐えられる傘骨構造。しかもそれでいて軽量なのは、親骨・受骨にグラスファイバーを、部分的にポリカーボネートを使用しているからだ。ストラップがついているので、肩にかけて持ち歩くことも可能。使い勝手は抜群だ。

Publisher
今井今朝春
Kesaharu Imai
Editor-in-Chief
前田賢紀
Takanori Maeda
Deputy-Editor
上岡　篤
Atsushi Kamioka
関谷和久
Kazuhisa Sekiya
桜井靖人
Yasuhito Sakurai
Managing-Editor
松崎薫子
Kaoruko Matsuzaki
杉本恵理子
Eriko Sugimoto
Senior-Editor
本田賢一朗
Kenichiro Honda
Editor
小野正章
Masaaki Ono
小川太市
Taichi Ogawa
岩井良祐
Ryosuke Iwai
和田史子
Fumiko Wada
小久保直樹
Naoki Kokubo
Directing Editor
土居輝彦
Teruhiko Doi
Advertorial Editor
中山 基
Motoi Nakayama
Art Director
若山トシオ
Toshio Wakayama
Designer
フェイヴァリット・グラフィックス
favorite graphics
Staff Photographer
熊谷義久
Yoshihisa Kumagai
油科康司
Yasuji Yushina
鶴田智昭
Tomoaki Tsuruda
青木健格
Takenori Aoki
宮坂政邦
Masakuni Miyasaka
Advertising Director
坪井一雄
Kazuo Tsuboi
Production Director
小川俊介
Shunsuke Ogawa
Circulation Manager
笹川裕史
Hiroshi Sasagawa
Print
Dai Nippon Printing Co., Ltd.

DTP
Base, Nagi

Correspondents,Washington,D.C.Bureau
(Pictorial Press International)
Norman T.Hatch
Mikako Burks

ワールドフォトプレス ホームページ
http://www.monomagazine.com
モノ・マガジン・ウェブ (mo.WEB)
http://www.monomagazine.com/moweb/
モノ・マガジン・ブログ
http://blog.goo.ne.jp/monomagazine/

NEXT
次号予告

特集
バスクシャツ、ボーダーシャツ、シマウマ、制服、ミルフィーユから惑星、熱帯魚まで、世界はシマシマでできている！
ストライプが発する力

いま、選ぶなら最高の実力時計がここに
最強のダイバーズウオッチ

楽しさや便利さを追求した家電が大集合！
オモシロ家電まつり

■うーん、うなるモノ■モノ進化論■mono編集部のモノ差し、他

新製品
モノ・モール
○好評連載!!
コンビニの力

モノ・マガジン6-16情報号 No.739
6月2日(火)発売 定価637円(税込)

●モノ雑誌のパイオニア 毎月2回(2日・16日)発売
mono
発行人●今井今朝春
編集人●前田賢紀
発行所●株式会社ワールドフォトプレス
〒164-8551 東京都中野区中野3-39-2
TEL:03(5385)5666[編集部]
03(5385)1350[広告営業部]
03(5385)5701[販売部]
FAX:03(5385)5617[編集部]
03(5385)1348[広告営業部]
03(5385)5703[販売部]
印刷所●大日本印刷株式会社

●編集の都合上、内容が一部変更される場合もありますのでご了承ください。

●乱丁・落丁は送料小社負担にてお取り替えいたします。
●本文中の価格は消費税込みの総額表示です。
実勢価格は編集部調べの価格です。